

外国語ワーキングチームにおける検討事項に関する主な論点に関する配布資料

- 学習指導要領等の構造化のイメージ(仮案・調整中)
- 資質・能力の三つの柱に沿った小・中・高を通じて外国語教育において育成すべき資質・能力の整理(たたき台)
- (参考)資質・能力を支える基盤としての言語能力向上の観点と外国語教育における改善・充実の方向性(たたき台)
- 資質・能力を育成する学びのプロセスの要素イメージ
- 「英語」において特に重視すべき思考力・判断力・表現力等の例
- 小・中・高等学校を通じて一貫した目標設定の在り方について
- 外国語教育の目標と学習過程の全体像(案)イメージ
- 「外国語」等における小・中・高等学校を通じた国の指標形式の目標(イメージ)たたき台
- 「外国語」等における小・中・高等学校を通じた国の指標形式の目標【技能ごと】(イメージ)たたき台
- 次期学習指導要領の3・4年生の年間指導計画 イメージ(案)たたき台(改訂版)
- 次期学習指導要領の5・6年生の年間指導計画 イメージ(案)たたき台(改訂版)
- Hi, friends! 1を活用した年間指導計画例の概要

学習指導要領等の構造化のイメージ（仮案・調整中）

下記のような構造をイメージしながら、各教科等の意義や教科・科目等の構成、各教科・科目等の内容を見直す必要があるのではないか。その際、教える側の視点だけでなく学習する側の視点にも立ち、学習プロセスの在り方や身に付ける資質・能力等について整理していく必要があるのではないか。

人格の完成を目指し、平和で民主的な
国家及び社会の形成者として必要な資
質の育成を期す

教科横断的・総合的に育成すべきさまざまな資質・能力

↑
教科等間の往還
(カリキュラム・マネジメント)
↓

個別の知識や技能
(何を知っているか、
何ができるか)

思考力・判断力・表現力等
教科等の本質に根ざした見方や考え方等
(知っていること・できることをどう使う
か)

学びに向かう力、人間性等
情意、態度等に関わるもの
(どのように社会・世界と関わり
よりよい人生を送るか)

教科学習

各教科に固有の知識や
個別のスキル

各教科の本質に根ざした問題解決
の
能力、学び方やものの考え方

各教科を通じて育まれる情意、
態度等

総合的な学習

(各学校で設定)

横断的・総合的な問題解決の能力

実社会における横断的・総合的な
問題解決に取り組む態度

特別活動

集団の運営に関する方法や
基本的な生活習慣等

よりよい集団の生活や
自己の生活習慣等を形成していく
能力

自己の役割や責任を果たす態度等

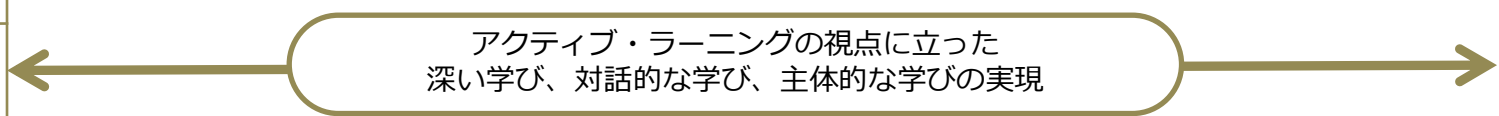
道徳教育

道徳的価値

道徳的判断力

道徳的心情、
道徳的实践意欲と態度

○幼児教育においては、主体的な活動である遊びを通じて総合的に指導。



在

小・中・高を通じて外国語教育において育成すべき資質・能力の整理（たたき台）

	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>外国語活動 小学校</p>	<p>外国語を用いてコミュニケーションを 図る楽しさを体験すること 外国語を聞いたり、話したりすること 外国語への慣れ親しみ</p>	<p>簡単な語句や表現を使って、自分のことや 身の回りのことについて、友達に質問した り質問に答えたりするコミュニケーション 能力</p>	<p>外国語を用いてコミュニケーション を図ることの楽しさや言語を用 いてコミュニケーションを図る大 切さを知り、相手意識を持って外 国語を用いてコミュニケーション を図ろうとする態度</p>
<p>外国語 小学校</p>	<p>聞くことに関する知識・技能 話すことに関する知識・技能 外国語を読んだり、書いたりすること 言葉の仕組みへの気付き（音、単語、 語順など）</p>	<p>馴染みのある定型表現を使って、自分の好 きなものや、一日の生活などについて、友 達に質問したり質問に答えたりするコミュ ニケーション能力</p>	<p>言語や文化に対する関心 など</p>
<p>外国語 中学校</p>	<p>聞くことに関する知識・技能 話すことに関する知識・技能 読むことに関する知識・技能 書くことに関する知識・技能 言語の働き、役割について理解 など</p>	<p>○具体的で身近な話題について、学校、地 域、他教科等での学習内容等と関連付け ながら、互いの考えや気持ちなどを外国 語で適切に伝え合う能力 ○聞いたり読んだりしたことを活用して話 したり書いたりして発信するコミュニ ケーション能力</p>	<p>他者を尊重し、聞き手・話し手・ 読み手・書き手に配慮しながら、 外国語でコミュニケーションを図 ろうとする態度 言語や文化に対する関心 など</p>
<p>外国語 高等学校</p>	<p>聞くことに関する知識・技能 話すことに関する知識・技能 読むことに関する知識・技能 書くことに関する知識・技能 言語の働き、役割について理解 など</p>	<p>○日常的な話題から時事問題や社会問題ま で幅広い話題について、情報や考えなど を外国語で的確に理解したり適切に伝え 合ったりするコミュニケーション能力 ○聞いたり読んだりしたことを活用して話 したり書いたりして発信するコミュニ ケーション能力</p>	<p>他者を尊重し、聞き手・話し手・ 読み手・書き手に配慮しながら、 外国語でコミュニケーションを図 ろうとする態度 言語や文化に対する関心 など</p>

言語力の育成方策について(報告書案)(平成19年8月16日言語力育成協力者会議配付資料)

(1) 言語の果たす役割

- ①知的活動(特に思考や論理)の基盤、②感性・情緒の基盤、③他者とのコミュニケーション(対話や議論)の基盤

(2) 指導の充実

◆言語力の育成については、国語科を中核としつつ、すべての教科等での言語の運用を通じて、論理的思考力をはじめとした種々の能力を育成するための道筋を明確にしていくことが必要。

①知的活動に関すること

- ・事実を正確に理解し、他者に的確に分かりやすく伝える技能を伸ばすこと
- ・自らの考えを深めることで、解釈や説明、評価や論述をする力を伸ばすこと
- ・考えを伝え合うことで、自らの考えや集団の考えを発展させる力を伸ばすこと

②感性・情緒等に関すること

- ・感性や情緒は、他者との人間関係の中で育まれていくものであり、美しい言葉や心のこもった言葉の交流は、人間関係を豊かなものに高めていくものであること

③他者とのコミュニケーションに関すること

- ・個々人が他者との対話を通して考えを明確にし、自己を表現し、他者を理解するなど、お互いの考えを深めていくことが人々の共同生活を豊かなものにする

◆発達の段階が上がるにつれて、具体と抽象、感覚と論理、事実と意見、基礎と応用、習得と活用と探究などについて認識や実践ができる水準が変化。それに応じて、指導内容や言語活動の特色付けをしていく必要がある。

次期学習指導要領において外国語教育を通じて求められる資質・能力の改善(イメージ)

学習指導要領において、③言語の果たす役割として他者とのコミュニケーション(対話や議論等)の基盤を形成する観点を資質・能力全体を貫く軸として重視しつつ、上記①、②の観点からも求められる資質・能力が明確となるよう整理することを通じて、外国語教育を改善・充実

- ・・・身近で簡単な話題について友人に質問したり質問に答えたりする能力(小学校)
- ・・・互いの考えや気持ちなどを英語で伝え合う能力(中学校)
考えや気持ちなどを理解し、根拠を持って伝え合う、等
- ・・・幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりする能力(高等学校)
- ・・・相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度(小学校)
- ・・・他者を尊重し、聞き手・話し手・読み手・書き手に配慮しながら、外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度(中学校・高等学校) 等

思考力
判断力
表現力
等

学びに
向かう
力、人
間性等

資質・能力を育成する学びのプロセスの要素イメージ

他者への働きかけ、他者との協働
外部との相互作用

目的に応じたコミュニケーションのプロセス

目的の設定・理解

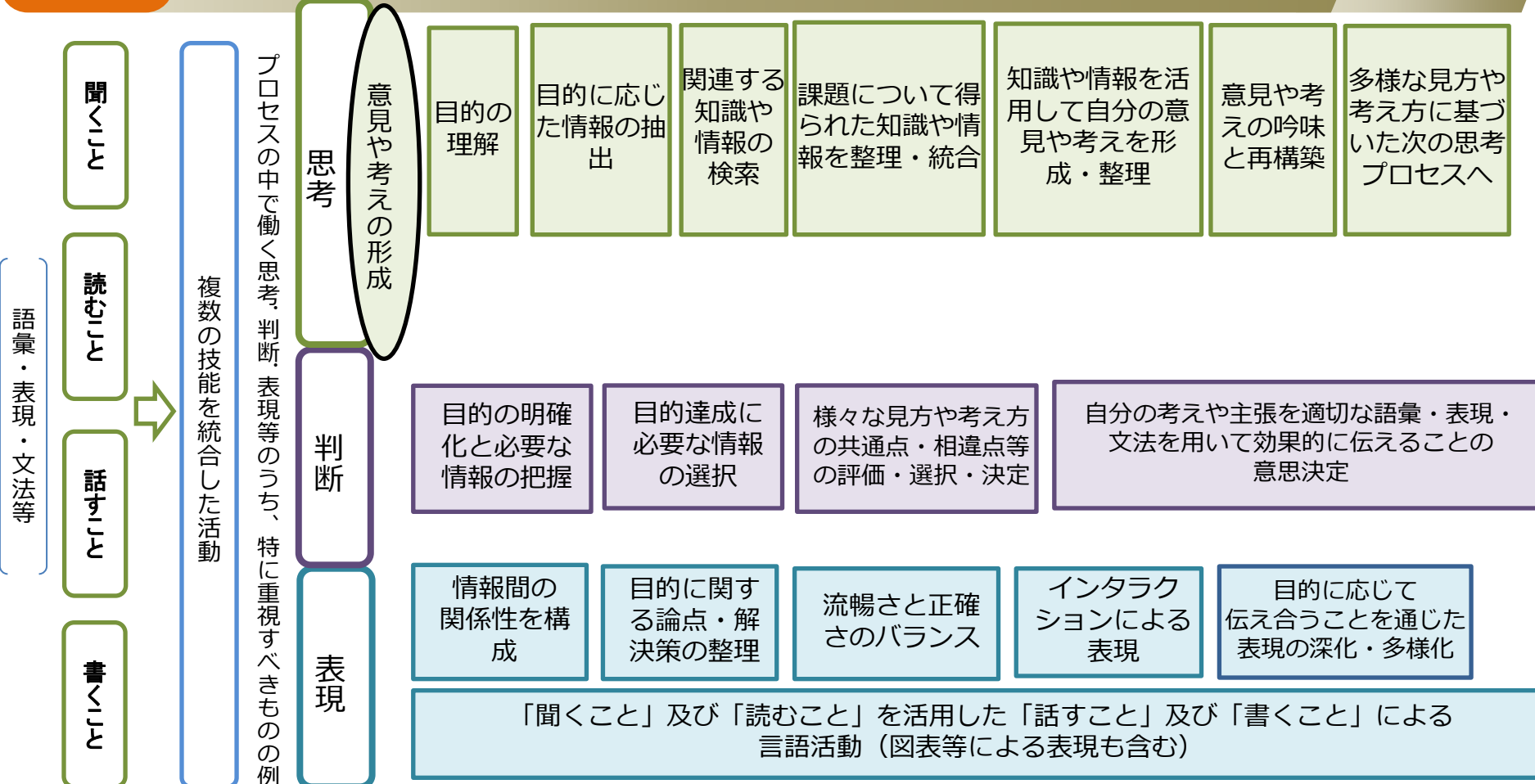
目的に応じた発信までの方向性の決定・言語活動等の見通し

目的達成のための言語活動(技能統合型)

言語・内容の両面におけるまとめと振り返り

次のコミュニケーションにおける目的の設定・活動へ

※必ずしも一方通行の流れではない



技能統合型の活動を通じた英語による思考力・判断力・表現力を育成

※2技能以上を効果的に組み合わせる統合的に活用(例) (聞いたたり読んだりして得た情報について、その概要や要点を的確に把握し、自分の意見や考えなどの共通点や相違点などを示しながら論理的・批判的に話したり書いたりして表現する力、与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力、相手からの問いかけに応じて自身の経験や考えを適切に述べる力) など

(案)「英語」において特に重視すべき思考力・判断力・表現力等の例

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランス良く総合的に育成するとともに、複数の領域を統合的に活用し、情報や考えなどを的確に理解したり、目的に応じたコミュニケーションのプロセスを通じて適切に伝えたりする思考力、判断力、表現力。

(例)

〈「聞くこと」の領域〉

- まとまりのある英文、比較的長い対話文、スピーチ、プレゼンテーション、講義などを聞き、複数の情報を整理するなど思考・判断して、必要な情報を得たり概要や要点を把握したりする力。

〈「読むこと」の領域〉

- まとまりのある英文、比較的長い対話文、英語で書かれた図表などを読み、複数の情報を整理・統合するなど思考・判断して、必要な情報を得たり概要や要点を把握したりする力。

〈「話すこと」の領域〉

- （発表）多様な考え方ができる話題や時事問題・社会問題などについて話して説明するとともに、自分の意見や考えなどをまとめ、適切な語彙・表現・文法を用いて論理的・批判的に話して伝える力。
- （やりとり）身近な話題や知識のある話題について、情報や意見について交換するとともに、自分の意見や考えをまとめ、適切な語彙・表現・文法を用いて伝え合う力。

〈「書くこと」の領域〉

- 多様な考え方ができる話題や時事問題・社会問題などについて、自分の意見や考えなどをまとめ、論点や根拠を明確にししながら、適切な語彙・表現・文法を用いて論理的・批判的に書いて伝える力。

〈技能統合の領域〉（4技能のうち2技能以上を統合的に活用）

- 聞いたり読んだりして得た情報（英文や図表など）について、その概要や要点を的確に把握するとともに、自分の意見や考えなどとの共通点や相違点などを示しながら、論理的・批判的に話したり書いたりして表現する力。

※「技能」と「領域」の考え方については引き続き検討